中学校 × 音楽・美術

音楽・美術どこが変わる？

まず現行と次期をマーカーで比べ、そのあと現行の解説（公式PDF）を読めます。



変わる所 3項目　解説PDF 2件

10秒でいうと

美術は発想から工夫して表すまでを「思考・判断・表現」に。鑑賞にも「技能」を示す

中学校の音楽と美術でも、思いをもつことと表すことを一続きでとらえる方向です。美術は、発想から工夫して表すまでを「思考・判断・表現」として示し、鑑賞にも「技能」を示す方向です。音楽は、知識と技能を一文で示し、身体の使い方を重視する方向です。漫画やアニメーション、映像などの表現や鑑賞も、端末を使って充実させる方向です。

どこが変わる？現行⇔次期（中学校）

黄色のマーカー＝次期で新しく入る・強調される言葉　~~赤の取り消し線~~＝現行から消える・変わる言葉

図画工作・美術・工芸の「思考・判断・表現」と「技能」の線引き

現行

発想や構想をする段階は「思考・判断・表現」、材料や用具を使い工夫して表す段階は「技能」と位置付けている。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

発想や構想をし、**工夫して表現するまで**のつながり**全体**を「思考・判断・表現」として示す。

P212　P214

書道の指導事項の示し方

現行

漢字仮名交じりの書・漢字の書・
仮名の書と鑑賞のそれぞれの
事項で、字形や全体の構成などを
具体的に示している。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

〔共通事項〕で「**書を構成する要素**などの働き・関係」として
整理し、学校の実態に応じて柔軟に
指導できるようにする。

P219

学習評価（総括のしかた）

現行

短い題材でも3観点すべてを
評価しようとして記録に
残す評価だけになったり、
完成作品だけで技能や思考・判断・
表現を評価したりする実態がある。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

複数の題材・単元・区分で**まとめて総括的評価**をしてもよい。
形成的評価を重視し、思考・判断・
表現は**学習の過程**の中の
姿でとらえる。

P221 ※現行側は本文の「現状の課題」として書かれている実態

現行の解説を読む（公式PDF）

いまの中学校の音楽・美術の解説です（文部科学省のPDFが新しいタブで開きます）。

PDF **音楽編**
中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 音楽編

PDF **美術編**
中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 美術編

学習指導要領の本文

PDF **中学校学習指導要領（平成29年告示）**
全教科の目標・内容（この教科は第2章）

もっとくわしく

音楽・美術の変更点（くわしく） 新旧比較（全校種） 中学校の先生へ
資料室（中学校のほかの教科）

出典：中央教育審議会 初等中等教育分科会 教育課程部会「次期学習指導要領等に向けた審議まとめ」（2026年10月5日）。P○ は本体PDFのページ、資料P○ は資料編のページ（クリックで該当ページが開きます）。